



鹿児島の郷

春号



発行 社会福祉法人 福竹会 加古川市平荘町山角 1038-4 TEL (079) 428-1765

ホームページ <http://www.kakonosato.com/> E-mail:kakonosato.1765@poem.ocn.ne.jp

「新年度を迎えて」

社会福祉法人福竹会 理事長 瀧 淑郎

新しい年度が始動しました。

さて弊会 福竹会では三月より加古川駅近く、国道二号線に面する加古川市の中心街である加古川町寺家町に、小規模多機能『じけまち』を開園いたしました。



開園に先立ち内覧会を開催しましたところ、地元の皆様を始め、多くの方々が見学に来られ、新しい事業所に対する関心の高さに身が引き締まる思いで臨んでいます。

また『地域包括支援センターかこがわ』及び『居宅介護支援事業所かこがわ』を移転し、同一建物で新たなサービス拠点として活動していますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十七年四月より介護保険制度の大改革が始まっています。

我々 介護保険事業者にとっては大幅な介護報酬ダウンによる冬の時代に入っていますが、社会福祉法人の原点である社会的使命の観点からいまだ一度立ち返り、ドラスティックに変化している社会環境、介護保険制度にも対応できる組織に弊会 福竹会も変革させる必要があると考えています。

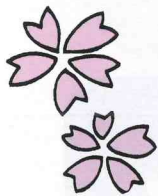
①コンプライアンス体制の確立・強化

②地域公益活動の積極的な推進を柱とし、

安心して暮らせる地域づくりに、

弊会サービス拠点である各事業所がその中核として活動してまいりますので、今後とも倍旧のご指導・ご鞭撻をお願ひ申し上げます。

平成二十七年四月吉日



新入職員紹介

~どうぞよろしくお願ひします~

これから福竹会の一員として精一杯頑張り、利用者様の笑顔を増やしていけるようにしていきたいです。明るく元気に支援することを心掛けて、一つひとつの関わりを大切にしていこうと思います。



近藤 克信

私は鹿児島の郷で入居者の方々に対して多くのお手伝いを行いたいと思います。家族の方々や入居者様、他の職員達にも信頼されるような職員になれるよう、頑張ります。これからよろしくお願ひ致します。



吉岡 萌

特養 鹿児の郷

3月3日 特養にてひな祭り会を開催
落ち着いた感じのお内裏様と、笑顔のステキなお雛様を囲み、みんなで歌をうたいクイズゲームで盛り上がり、今年も楽しい時間を過ごす事ができました。



小規模 特養

2月24日「みとろフルーツパーク」へ
少し早めの梅は近くに行くと、ほんのり香りがし一足先の春を感じました。皆さんとっても素敵な笑顔をされていました。その後はフルーツパークのクリスタルアーチを見学し、室温25℃以上に保たれとても暖かく、珍しいバナナの木などを見られ楽しまれました。最後は喫茶で一息、帰りの車内では「楽しかった」「嬉しかった」と満面の笑みで話されていました。



デイサービス

3月3日・11日

見土呂果樹園の梅林見学へ
当日は雨や寒空ということもあり、降りることはできませんでしたが、可憐な花をつけた梅をご覧になり、車内にも笑顔の花が咲き誇りました。その後は小野市の鴨池公園へと車を走らせ、鴨池にいる渡り鳥を見学されました。



小規模多機能

3月3日ひなまつり会を開催。
利用者の皆様に春の歌を元気に合唱したりひなまつりの思い出話を花を咲かせたり。その後は、おひな様と記念撮影。とても楽しい一日となりました。



ケアハウス

3月10日「観梅ツアー」へ
雪がちらつく天候ではありましたが、江井ヶ島で新鮮なお刺身・お寿司を食べご満悦でした。寒さの中、石ヶ谷公園の梅林を散策し、紅梅、しだれ梅と1000本の梅に囲まれハイポーズ。楽しんで頂けたかと思えます。





節分



両荘幼稚園と鹿児の郷に鬼がやってきました。
節分はこれから一年の鬼(邪気)を払い、家族の無病息災を願う意味が込められています。
皆で「鬼は外〜。福は内〜。」と福をたくさん呼び込みました。



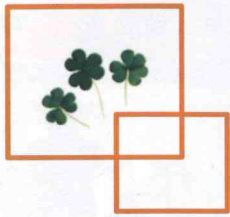
3月20日、尾崎ミスエ様が
100歳のお誕生日を迎えられ、高砂市より「百寿の証」を授与されました。
ご家族様や職員からの「おめでとうございます！」と祝福の言葉をかけられると、「ありがとう」と嬉しそうな笑顔が素敵でした！
いつまでもお元気で。

祝！百寿

おめでとうございます



小規模多機能「じけまち」がオープンしました！



小規模多機能「じけまち」では、同じ場所で顔なじみの利用者同士や職員が「通い」を中心に、「宿泊」「訪問」といった支援によって継続的に関わります。24時間365日、切れ目ない支援を安心と共に届けます。

また、ご本人や家族の変化に瞬時に気付くことが可能なことで、状況や状態に合わせて臨機応変な対応ができます。

その時その人にあった「支え方」を提供します。これまでの「暮らし方」に添って、必要なサービスを必要に応じて提供していくことで「地域での暮らし」を実現していきます。

「なじみの暮らし守り隊

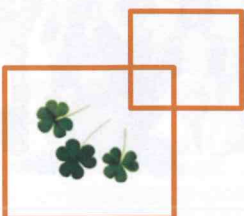
手をつなげれば「楽」

が見える介護』

を合言葉に、職員一人一人が思いに寄り添い、感謝の気持ちを伝えながら、笑顔と元気を伝えられる、そんな小規模多機能「じけまち」を目指します。

小規模多機能「じけまち」

管理者 坂村 美由紀



ライフ・エンディングセミナー&介護教室開催

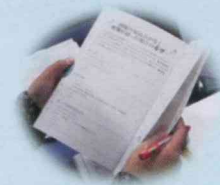
2月8日介護教室が開催されました。今回は今話題になっている終活について、明治安田生命のファイナンシャルプランナーをお招きし講演いただきました。当日は130名余りの地域の方がご参加くださり、皆様メモを取り聞いておられました。



お葬式や相続税・贈与税のお話から、「もしもの時」に備えて自分の思いや希望を書き残しておくためのエンディングノートの活用方法などの説明もあり、とても参考になりましたと、多くの感想をいただきました。

第二部では介護支援専門員による「介護保険制度」について説明させていただきました。介護はまだ必要がないと思っていられる方にも、いざという時に相談できる窓口が地域にあるというのは強い味方。今後も地域で一番の介護相談窓口として福竹会は取り組んでまいります。

ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。
次回もお楽しみ下さい。



俳句倶楽部

姿よく 紅白より添う しだれ梅 みほ

春の雨 一日毎に うとましく 龍胆

雖かな 母によく似て 笑顔よし 飛水

編集後記

新緑の季節となり外出には最適なこの頃、いかがお過ごしでしょうか。
新年度を迎え、鹿児島の郷にも新たな仲間が加わりました。私たちもいま一度初心に立ち返り、春の日差しのような温かい気持ちを皆様にお届けして参りたいと思います。



編集委員一同

